

令和元年度
高松市下水道事業会計
決算の概要

高松市都市整備局下水道部

1. 令和元年度決算のポイント

(1) 決算規模 (税込)

	令和元年度 A	平成30年度 B	前年度比較 A - B	
			増減	前年比率 %
決算規模	209 億円	197 億円	12 億円	106.0 %
収益的支出 (3条予算)	111 億円	110 億円	0 億円	100.4 %
資本的支出 (4条予算)	99 億円	87 億円	11 億円	113.1 %

※四捨五入の関係上、各表間の計数、増減率等が一致しない場合がある。

(2) 決算のポイント

- 決算規模は、資本的支出（施設整備事業費）の増加に伴い、209億円
前年度から12億円（+6.0%）増加
- 下水道使用料43.2億円（▲0.1%）は前年度並み
- 一般会計繰入金38.8億円（+1.4%）は、資産減耗費の増加に伴い増加
- 企業債残高は、前年度比▲18億円の872億円
- 内部留保資金は、前年度比+2億円の26億円
- 汚水処理人口普及率は、前年度比+0.7ポイントの87.7%

2. 業務の状況

(1) 水洗化率等

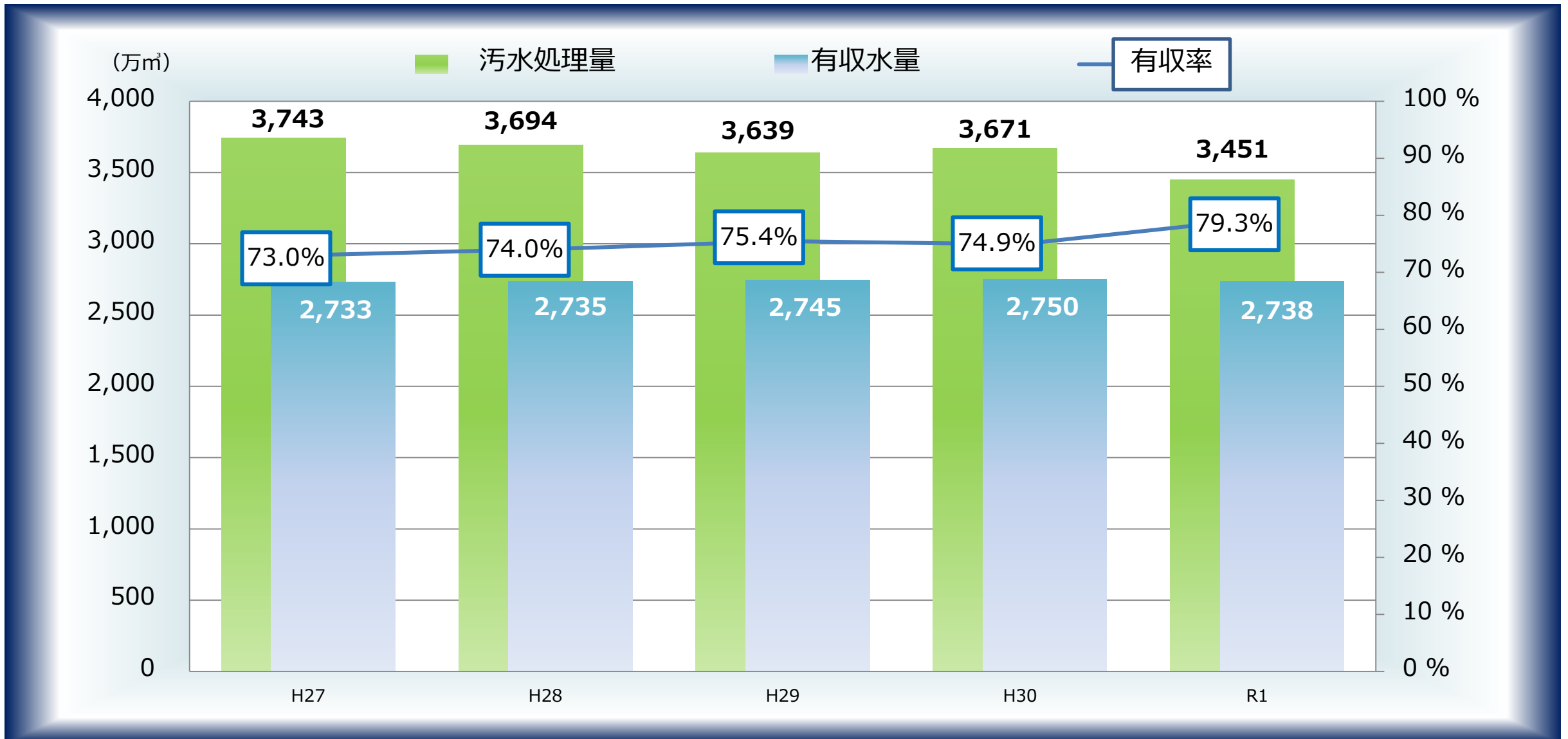
項目		令和元年度	平成30年度	前年度比較	
				増減	前年比率 %
行政区域内人口	人	424,993	425,949	▲956	99.8
処理区域内人口 ^①	人	271,695	270,515	1,180	100.4
処理区域面積	ha	5,493.8	5,486.8	7.0	100.1
水洗化人口 ^②	人	249,293	248,055	1,238	100.5
水洗化率 ^{②/①}	%	91.8 (90.3)	91.7 (90.3)	0.1	—
汚水処理人口普及率	%	87.7 (87.6)	87.0 (86.9)	0.7	—

※汚水処理人口普及率は、合併浄化槽等を含む

※ () は、第4次高松市生活排水対策推進計画の年次目標の数値である。

2. 業務の状況

(2) 処理水量及び有収水量



3. 収益的収支（税抜）の前年度比較

単位:百万円

区分	元年度	30年度	前年度比較		主な増減理由
			増減	率(%)	
下水道事業収益	10,860	10,781	80	100.7	
1 営業収益	6,805	6,756	49	100.7	
下水道使用料	3,976	4,003	▲28	99.3	▲有収水量の減少
一般会計繰入金	2,599	2,496	103	104.1	+ 資産減耗費の増加に伴う増
その他(MICS,再生水等)	230	256	▲26	89.9	▲MICS収入の減
2 営業外収益	4,051	4,024	27	100.7	
一般会計繰入金	603	721	▲118	83.6	▲支払利息の減少に伴う減
その他	3,448	3,303	145	104.4	+ 資産減耗に伴う増
3 特別利益	4	1	3	652.3	+ 貸倒引当金の戻入
下水道事業費	10,860	10,781	80	100.7	
1 営業費用	9,559	9,357	202	102.2	
管きよ費	303	336	▲32	90.4	▲施設の修繕費等
ポンプ場費	356	364	▲8	97.8	"
処理場費	1,362	1,334	27	102.1	+ 処理場等運転管理業務委託料の増
排水設備・業務費	318	317	1	100.3	
総係費	245	233	13	105.4	+ 退職手当（㊿1人→㊿2人）
減価償却費等	6,975	6,774	201	103.0	+ 施設改築に伴う除却費の増
2 営業外費用	1,301	1,423	▲122	91.4	
支払利息等	1,301	1,423	▲122	91.4	▲企業債利息
3 特別損失	0	0	0	943.3	
当年度純利益	0	0	0	-	

4. 資本的収支（税込）の前年度比較

単位:百万円

区分	元年度	30年度	前年度比較		主な増減理由
			増減	率(%)	
資本的収入	6,395	4,869	1,525	131.3	
1 企業債	4,432	3,315	1,117	133.7	+ 起債対象事業費の増加に伴う
2 他会計出資金	678	608	70	111.5	+ 償還額の増加に伴う（交付税措置）
3 国・県補助金	1,249	881	369	141.9	+ 補助対象事業費の増加に伴う
4 分担金及び負担金	35	64	▲29	54.1	▲ 受益者分担金
5 その他	0	1	▲1	26.0	
資本的支出	9,885	8,738	1,146	113.1	
1 建設改良費	3,645	2,628	1,017	138.7	
資産購入費	2	17	▲15	12.6	
施設整備事業費	1,278	1,183	95	108.0	
繰越施設整備事業費	2,365	1,429	937	165.6	③〇管更生工事（1.7億円） ③〇福岡ポンプ場増設工事（3.1億円） ③〇香東川浄化センター改築工事（2.6億円） ③〇牟礼浄化苑改築工事（1.8億円）
2 企業債償還金	6,239	6,110	129	102.1	
3 その他	0	0	0	-	
収支差引（補てん財源）	3,490	3,869	▲379	90.2	

5. 予算執行状況（税込）

収益的収支（3条予算）

単位:百万円

科目	予算額	決算額	予算残	執行率	主な予算残の理由
下水道事業収益	11,399	11,222	177	98.4 %	
1 営業収益	7,310	7,167	142	98.1 %	一般会計繰入金の減
2 営業外収益	4,088	4,051	37	99.1 %	〃
3 特別利益	2	4	▲2	206.2 %	貸倒引当金の戻入
下水道事業費	11,295	11,053	242	97.9 %	
1 営業費用	9,902	9,739	163	98.4 %	維持管理経費(管きよ費・処理場費等)
2 営業外費用	1,381	1,313	68	95.1 %	消費税等
3 その他	12	0	11	3.4 %	

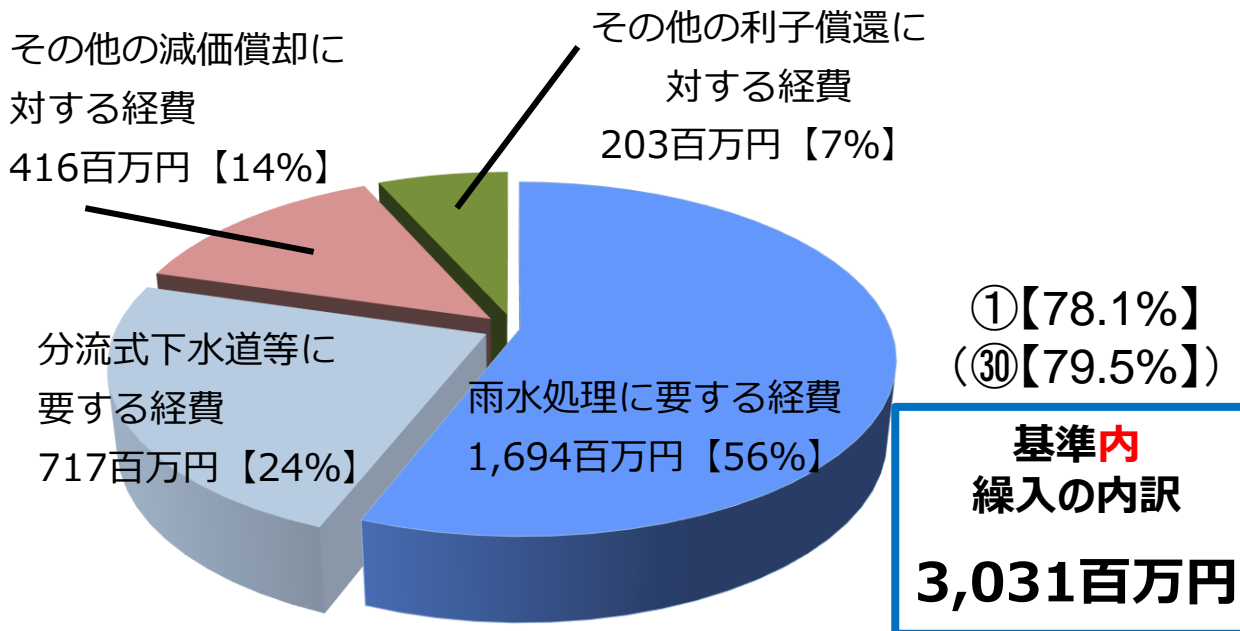
資本的収支（4条予算）

科目	予算額	決算額	予算残	執行率	主な予算残の理由
資本的収入	8,708	6,395	2,314	73.4 %	
1 企業債	5,882	4,432	1,450	75.4 %	建設改良費の繰越
2 国・県補助金	2,094	1,249	845	59.7 %	〃
3 その他	732	713	19	97.4 %	
資本的支出	12,338	9,885	2,454	80.1 %	
1 建設改良費	6,091	3,645	2,445	59.9 %	①⇒②繰越額（22億円） ③⇒①繰越額のうち不用額（2億円）
2 企業債償還金	6,240	6,239	1	100.0 %	
3 その他	8	0	7	5.1 %	

6. 一般会計繰入金

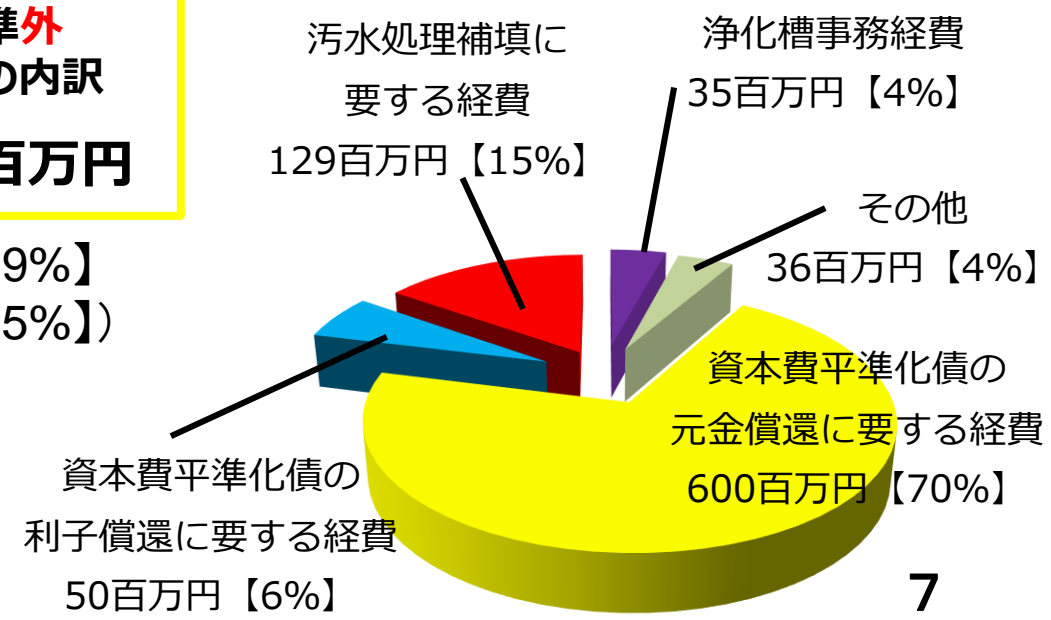
単位:百万円

	元年度	30年度	増減	R2予算	備考
負担金	3,073	3,093	▲20	2,929	雨水処理に要する経費、分流式下水道等 など
補助金	129	124	5	127	汚水処理補填、水洗便所貸付金事務費 など
出資金	678	608	70	735	資本費平準化債、特別措置分（元金） など
合計	3,881	3,826	55	3,791	
繰出基準内	3,031	3,043	▲12	2,889	総務省通知
繰出基準外	851	784	67	902	

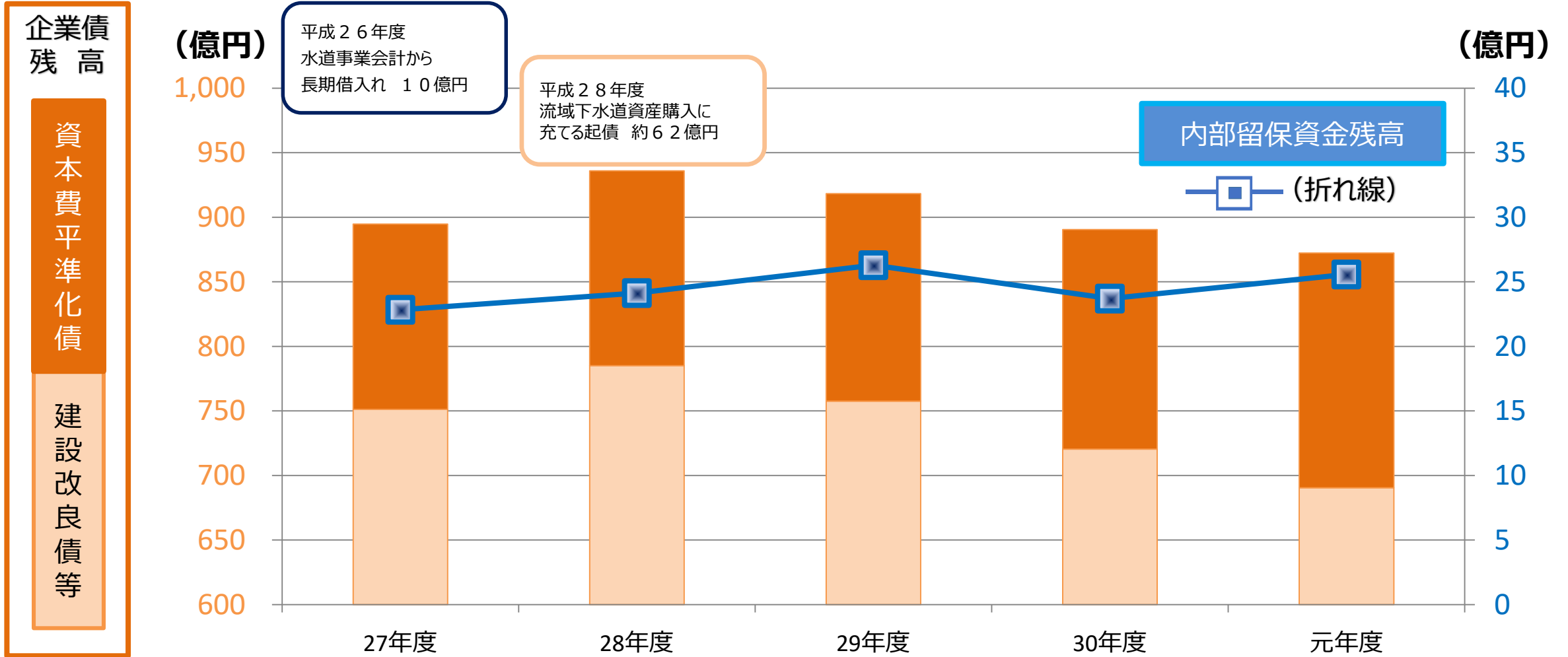


基準外繰入の内訳
851百万円

①【21.9%】
(③【20.5%】)



7. 企業債残高及び内部留保資金残高の推移



企業債残高	894.8	936.0	918.4	890.4	872.4
建設改良債等	751.3	785.1	757.6	720.4	690.5
資本費平準化債	143.5	150.8	160.8	170.0	181.9
内部留保資金残高	22.8	24.1	26.3	23.7	25.6